

中小企業動向 トピックス

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

「全国中小企業動向調査・中小企業編」結果概要
〔2021年10-12月期実績、2022年1-3月期および4-6月期見通し〕

当公庫ではお取引先のご協力を得て、2021年12月中旬に「全国中小企業動向調査・中小企業編」を実施しました（調査対象12,733社、有効回答企業数5,774社、回答率45.3%）。

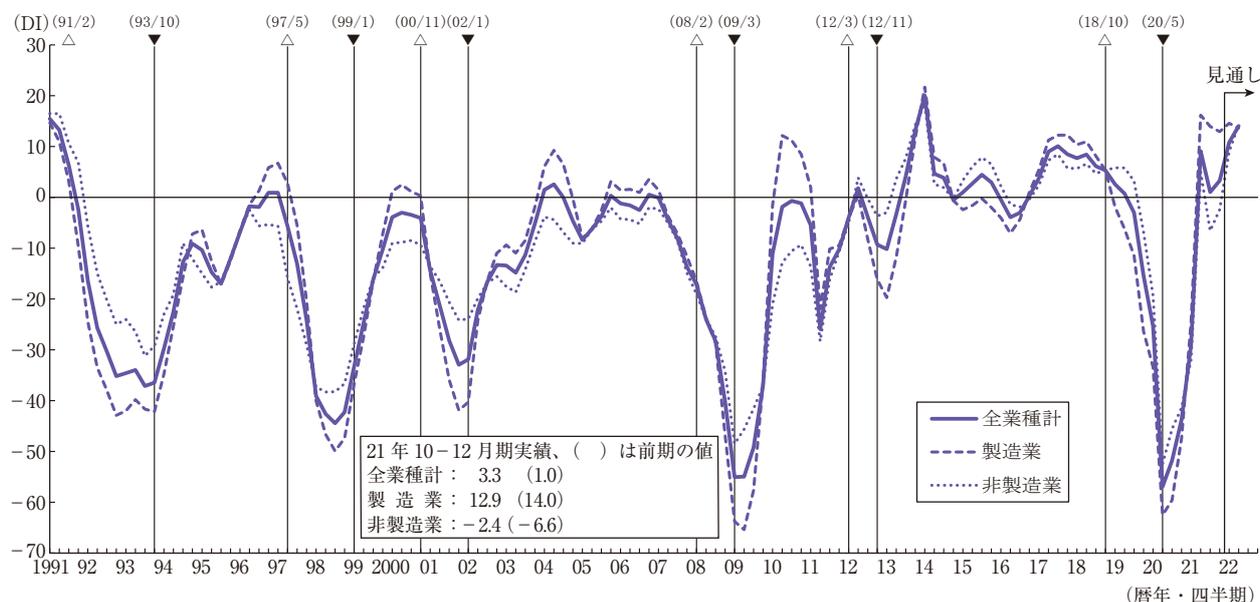
今期の業況判断DIは、前期から2.3ポイント上昇し、3.3となりました。中小企業の景況は、依然として厳しい状況にありますが、持ち直しの動きがみられます。

業況判断DIは3期連続でプラス圏

今期（2021年10-12月期）の業況判断DIは、前期（2021年7-9月期）から2.3ポイント上昇し、3.3となりました（図-1）。上昇は2期ぶりです。2021年4-6月期から3期連続でプラス圏を維持しています。業種別にみると、製造業は前期から1.1ポイント低下し、12.9となりました。非製造業は前期から4.2ポイント上昇し、-2.4となりました。

来期（2022年1-3月期）の見通しは10.8、来々期（2022年4-6月期）は14.0と、それぞれ上昇を見込んでいます。

図-1 業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）



資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査・中小企業編」（以下同じ）

（注）△は景気の山、▼は景気の谷を示す（以下同じ）。

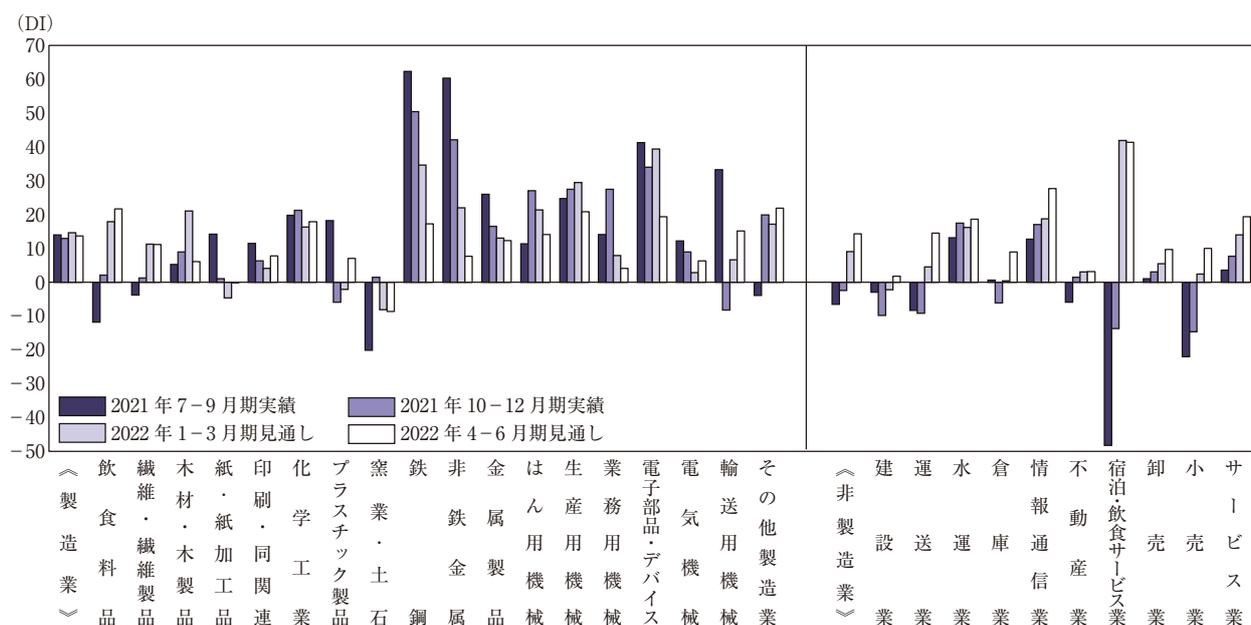
非製造業の業況が改善

さらに細かい業種別に業況判断DIをみていきましょう。今期のDIは、製造業は18業種中9業種で、非製造業は10業種中7業種で、前期と比べて上昇しました（図-2）。

製造業では、海外経済の持ち直しの影響で、はん用機械や生産用機械、業務用機械といった輸出比率の高い業種のDIの水準が高くなっています。

非製造業では、緊急事態宣言が解除されたこともあり、人出が増えたため、消費関連で改善がみられます。宿泊・飲食サービス業は、前期から34.5ポイント上昇しました。このほか、小売業や卸売業、サービス業などが改善しています。

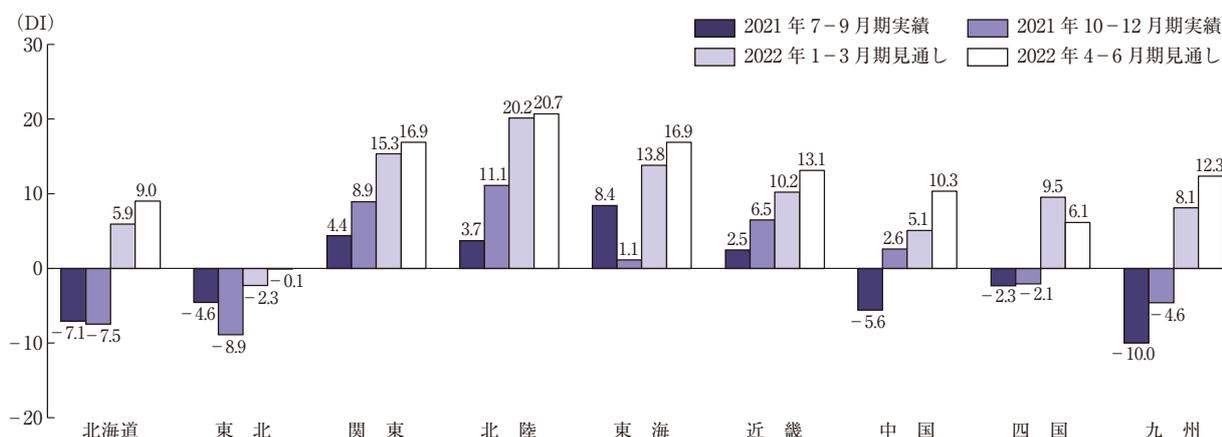
図-2 業種別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」－「悪化」企業割合、季節調整値）



六つの地域で業況判断DIが上昇

地域別にみると、今期は、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州の6地域で業況判断DIが上昇しました（図-3）。来期は、全地域で上昇する見通しです。

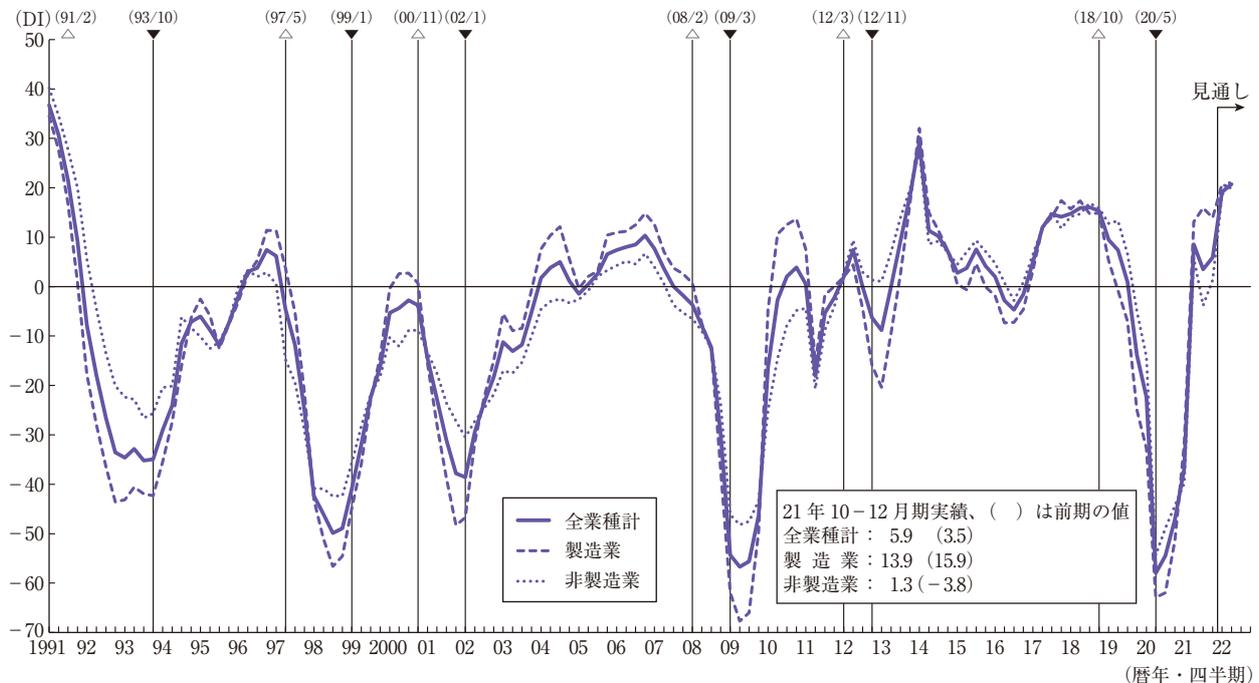
図-3 地域別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」－「悪化」企業割合、季節調整値）



売上DIは2期ぶりに上昇

今期の売上DIは、前期から2.4ポイント上昇し、5.9となりました（図-4）。2期ぶりの上昇です。来期は19.2に上昇し、来々期は20.7とさらに上昇する見通しです。

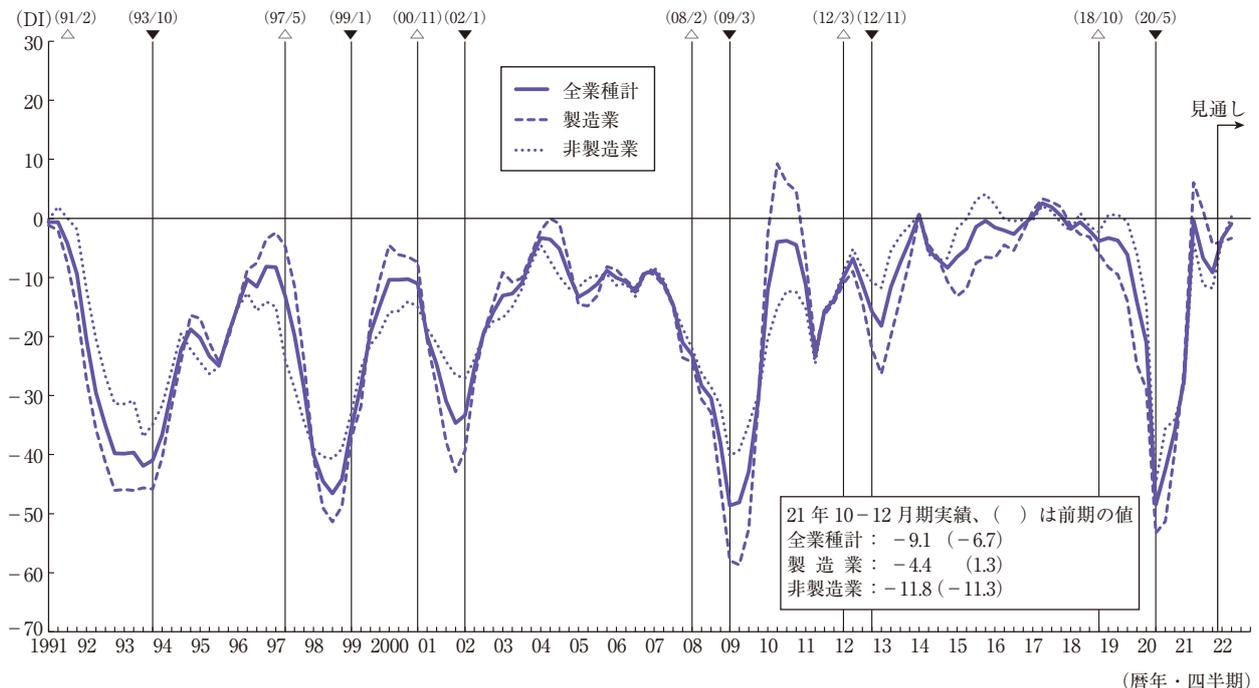
図-4 売上DIの推移（前年同期比で「増加」－「減少」企業割合、季節調整値）



純益率DIはマイナス幅を拡大

今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が2.4ポイント拡大し、-9.1となりました（図-5）。原材料価格や燃料価格の高騰が影響しています。来期は-3.4とマイナス幅が縮小する見通しです。

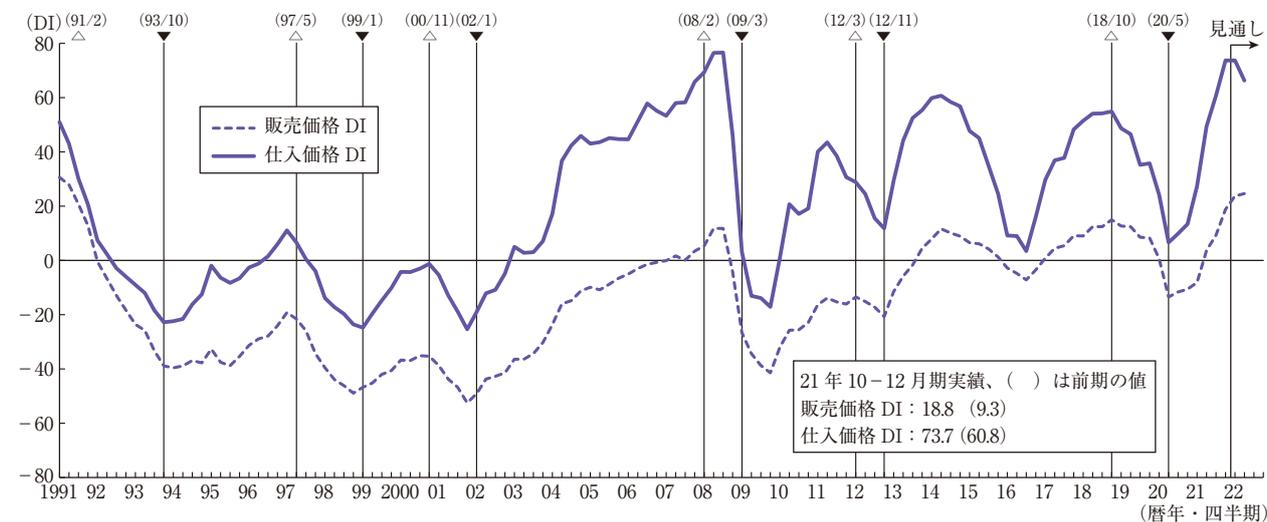
図-5 純益率DIの推移（前年同期比で「増加」－「減少」企業割合、季節調整値）



販売価格 DI、仕入価格 DI ともに上昇

販売価格 DI は前期から 9.5 ポイント上昇し、18.8 となりました（図-6）。仕入価格 DI は前期から 12.9 ポイント上昇し、73.7 となりました。原材料価格の高騰で、仕入価格 DI は引き続き上昇し、最高値である 76.6（2008 年 10-12 月期）に近づいています。

図-6 販売価格 DI と仕入価格 DI の推移（いずれも前年同期比で「上昇」-「低下」企業割合、原数値）

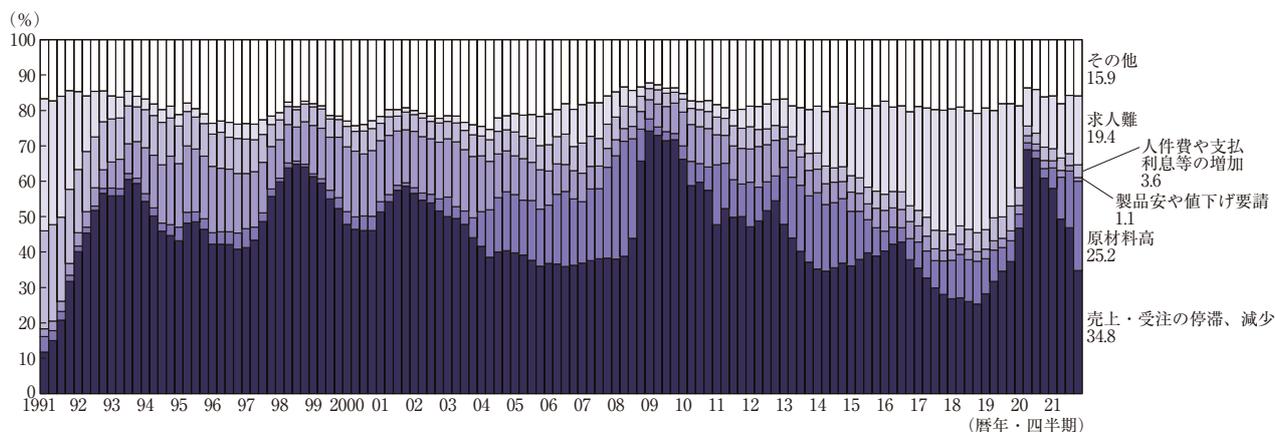


経営上の問題点では「原材料高」の上昇が続く

当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」と回答した割合が 34.8% と最も高く、次いで「原材料高」（25.2%）、「求人難」（19.4%）と続きます（図-7）。「売上・受注の停滞、減少」は前期に比べ 12.1 ポイント低下し、「原材料高」は 9.2 ポイント上昇しました。

今回の調査は、感染状況が落ち着いていた時期に実施したこともあり、消費関連の業種などに持ち直しの動きがみられました。もっとも、調査後の 2022 年 1 月には新規陽性者数が再び急増しており、今後は中小企業にも影響が出ることは間違いありません。現状、まだ中小企業の景況は好転したとは言いきれない状況です。（小針 誠）

図-7 当面の経営上の問題点の推移



「中小企業動向トピックス」に関するご意見・ご要望等ございましたら、本支店窓口までお問い合わせください。

発行：日本政策金融公庫 総合研究所 ~ホームページ <https://www.jfc.go.jp/> ~